

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	有限会社 劇団鳥獣戯画
公演団体名	劇団鳥獣戯画

内容
<p>◎講師陣紹介ののち、表現ワークで心と体を解放します。</p> <p>◎良寛と遊んでいた子どもたちの生活はどんなだったか？を話し合い、想像します。 事前に調べてもらった良寛のエピソードの紹介や、感じたことの発表も。</p> <p>◎ホットスポットというエチュードで子ども（自分ではない、江戸時代の子ども）の生活や内面に考えを巡らせます。（いくつかのグループに分かれ、距離をとります）</p> <p>◎良寛と遊ぶシーンを作ってみます。 （実際に動いてみて、動き・気持ちから台詞が言えるように）</p> <p>◎本番用の台詞の録音をします。</p>

タイムスケジュール（標準）
2時限のうち 前半 表現ワーク、昔の子どもたちの生活の想像、良寛のエピソード発表、ホットスポット 後半 遊ぶシーン作り、 録音

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
6名（指導者5名、音響スタッフ1名）

学校における事前指導
児童に良寛というお坊さんのエピソードを調べてもらいます。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	有限会社 劇団鳥獣戯画
公演団体名	劇団鳥獣戯画

演目
ミュージカル「良寛さん」～てんてん手毬はどこいくの～

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
12名 (出演者7名 スタッフ5名)

タイムスケジュール (標準)	
8:00～12:00 仕込み	13:30～14:40 上演
14:40～14:45 ワークショップ参加の声の出演者紹介	
14:55～16:25 撤収	16:35 退出

実施校への協力依頼人員
可能ならば搬入・搬出時に4、5名いて下さると助かります。

演目解説

楽しそうな子どもたちの声が聞こえてきます。(ワークショップで録音した声)

良寛さんと遊んで、去っていった様子。

その後、良寛さんは手毬遊びを。そこへ若き僧、遍澄（へんちょう）が日本一のお坊さんと言われている、良寛さんの住む草庵へ。

遍澄は、村で子どもたちと遊んでいた粗末な身なりの僧が良寛さんと知り、驚くのです。

新潟県は出雲崎の裕福な商人のうちに生まれた良寛さんが、なぜ出家し、また、なぜ寺を出て、自然の中の粗末な草庵に住み、乞食坊主の暮らしを選んだのか……。

子どもたちと手毬で遊び、たくさんの書や、心に響く和歌、漢詩を残し、晩年には40歳も年齢の離れた尼僧、貞心尼（ていしんに）との恋をした良寛さんの生涯が歌と踊りをまじえ、演じられます。

今に伝えられるエピソードや残された歌を織り交ぜ、貧をものともしない穏やかで激しい良寛さんの生涯を、アクティブで楽しい、感動的な作品にしました。

※コロナ対策版では、俳優たちは事前に抗原検査を実施。また、フロアでの演技エリアを出来るだけ少なくし、客席までの距離を広めに取ります。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ワークショップを受けた児童の、声での参加。

終演後にお名前をご紹介します。

児童生徒とのふれあい

学校ならびに児童からの要望があった場合、全員で「良寛さん」の楽しい踊りに挑戦することができます。